

各都県ボウリング連盟 御中

2024年7月15日(Rev. 0)

関東地区ボウリング連合

副会長(事務局長)久保 正幸

サムレスボールの中心(+)マーク表示の徹底について

第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会(山梨県開催)において、有る監督から他県のサムレスボールのサムホール(親指穴)がない場合、手のひらを置く方向を示す(+)マーク付ける事で定められているが、(+)マークが付けていないボールが散見されたと指摘がありました。

本件、ボウリング・ボール検査員 検査に関する手引【公益財団法人 JAPAN BOWLING、2024年4月1日改定版】に下記内容で記載されております。

ボールの中心は、バランス検査のために必要であり、ボールの中心は検査の基準点であり、最も重要なものである。

親指穴(サムホール)がない場合の中心の出し方 親指穴(サムホール)が無いボールについての手のひらを置く方向を示す(+)マークは表面の壅みや溝、傷とみなさい。

(+)マークについては以下の条件で付けるようとする。

a) 中心点より直下(2インチ(5.08センチメートル)ぐらいの場所)で手のひら中心付近につけること。

b) サイズは0.393インチ(1センチメートル)以上0.7874インチ(2センチメートル)程度、深さについては特に定めないが、ローリングトラックにかかる場合はレーンに傷がつかない深さとすること。

c) マークを付ける道具については特に定めないこととするそれぞれの図での十マークの位置(掌や手の大きさにより異なります)を示しています。

詳細については、図5(図6・7)を参照して下さい。

上記内容について、各都県ボウリング連盟内(公認ドリラー及び公認ボール検査員・選手)で即時徹底して頂きますよう、お願い致します。

それぞれの図での十マークの位置(掌や手の大きさにより異なります)を示しています。

図 5

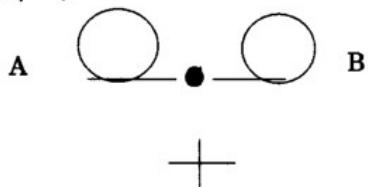


図4はA-B2つの指穴(フィンガー)のみで
A-Bを結んだ線の中心が中心点になる。

図 6

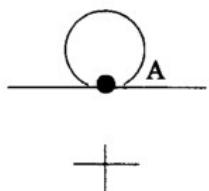


図6は指穴1個の場合にはAが中心になる。

図 7

図7)1

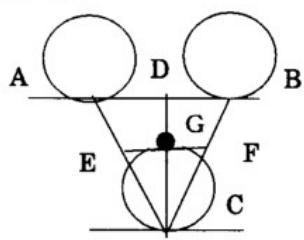
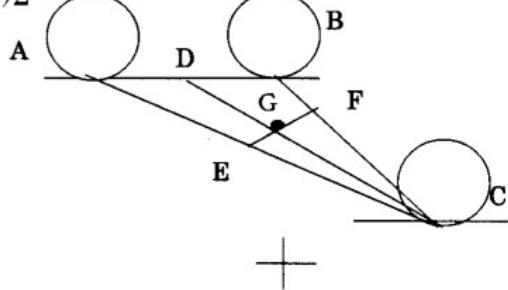


図7は指穴3個の場合

図7)1 A-B、B-C、A-Cはそれぞれ3つの指穴(フィンガー)の下部のエッジで
結んだ線であり、さらにそれぞれの中点である E-F、中点DとCの上部エッジの中
心を結んだ線の中点であるGがボールの中心である。

図7)2 A-B、B-C、A-Cはそれぞれ3つの指穴(フィンガー)の下部のエッジで
結んだ線であり、さらにそれぞれの中点である E-F、中点DとCの下部エッジの中
心を結んだ線の中点であるGがボールの中心である。

図7)2



—以上—